



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 トモニホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長兼CEO 遠山 誠司
 (コード番号 8600 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 藤井 仁三
 (TEL 087-812-0102)

平成 29 年 3 月期決算の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)決算における連結業績につきまして、
 経常収益の業績予想を開示しておりませんでしたので、前期実績との差異について下記のとおりお知らせいた
 します。

記

1. 連結業績について

平成 29 年 3 月期通期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期) (A)	60,962	13,070	7,931
当 期 実 績 (平成 29 年 3 月期) (B)	71,494	16,326	25,810
増 減 額 (B-A)	10,532	(3,256)	(17,879)
増 減 率 (%)	17.2	(24.9)	(225.4)

(ご参考)

業 績 予 想 (平成 29 年 3 月期) (C)	—	13,650	23,950
増 減 額 (B-C)	—	2,676	1,860
増 減 率 (%)	—	19.6	7.7

2. 差異の理由

当社は、平成 28 年 4 月 1 日付で、当社を株式交換完全親会社、株式会社大正銀行を株式交換完全子会社とする株式交換(以下「本株式交換」といいます。)を行いました。本株式交換に伴いまして、資金運用収益が増加したほか、国債等債券売却益及び株式等売却益が増加したこと等により、経常収益は、前期比 10,532 百万円増加して 71,494 百万円となりました。

なお、本経営統合に伴い営業経費が増加しましたが、与信関連費用が大幅に減少したこと等により、経常利益は前期比大幅に増加しております。また、本経営統合に係る特別利益として負ののれん発生益 14,849 百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比大幅に増加しておりますが、この特別利益は、本株式交換に伴う会計上の利益であり、今年度のみ発生するものであります。

以 上